

週 報

1995年5月21日 復活節第6主日

巻16 8号

1995年度教会主題

「恵みに生きる」

聖句 すると主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」と言われました。

コリントの信徒への手紙 二 12章9節a

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集會を守る。
 2. 一人一人が伝道と奉仕を。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電 話 045-833-5323

ファックス 045-833-6616

振 替 00290-4-13994

牧 師 秋 吉 隆 雄

ヨハネ黙示録は、クリスチャンがローマ帝国によって大迫害を受けていた時、迫害に耐えて信仰を全うするように励ます目的で書かれた。地上の権力者がどんなに横暴で強そうに見えても、最終的には神につく者が勝利する。その勝利を終末論的に輝かしく描き出して、信仰を励ましている。終末信仰は現実的な世界崩壊の恐怖ではなく、歴史を始められた神が完結をもたらしてくれる全き救いへの待望である。この待望が今の生き方を責任的にするのである。

オウム真理教の言うハルマゲドンは、神がもたらす完結ではなく人間可志の闘いで終る現実的な世界崩壊らしい。聖書の終末信仰とは結び合うところは一点もない。象徴的な言葉「ハルマゲドン」を現実の恐怖として受け入れる精神構造が、ありもしない超能力や予言を現実視させたのではない。現実と妄想を分離できない幼さが悲劇を招いた。閉塞した日常性から抜け出したい願望を映す時代の事件と言えよう。あまりに大きい犠牲だが、これが日本の現実だと受けとめざるを得ない。

一牧師室から一

朝日歌壇に「隷属者君たちの言う世紀末来ればそれでいいではないか」という短歌が選ばれていた。自分で考えることを放棄した隷属者たちは、教祖の言いなりに世紀末を信じ、そこから自分たちだけが救われたいと言う。歌人はもし世の終りが来るなら一緒に死ねばいいではないかと隷属者たちに怒りを込めて論している。

ハルマゲドンという言葉は、ヨハネ黙示録16章16節にただ一度出てくるヘブライ語で、「メギドの丘」を意味し、壮絶な闘いをした古戦場を指す。ヨハネ黙示録は、このハルマゲドンで神の軍勢と地上の権力者が闘い、神につくものたちの大勝利を告げている。ハルマゲドンは、元来は信仰者の究極的勝利の「象徴的」地名である。それが最終戦争による破壊と混乱の終末時の様を示す言葉として用いられるようになった。